

本校は、清らかな玖島川のせせらぎと、豊かな自然の緑に抱かれたこの地で、明治の教育の黎明期から、地域とともに歩み続けてきました。これまで多くの卒業生が、この学び舎を巣立ち、社会の様々な分野で活躍されています。その礎となっているのは、「ふるさとを愛する心」です。

昨年度 150 年の歴史の節目を迎え、さらに歴史の一步を生み出しました。この大きな節目を単なる過去の振り返りではなく、未来への新たな一步を踏み出す契機と捉えたいと考えます。

私は 15 年前に教諭として 9 年間友和小学校でお世話になりました。「ふるさとを愛する」地域のあたたかな愛のもと、子供たち、保護者そして地域の方々と一緒に成長させていただきました。そしてそのときは、玖島小学校の歴史と友和小学校の歴史、二つが一つになった時でもありました。

再び校長として友和小学校に赴任することができたのは、運命的なことだと感じています。「ぜひ恩返しができるば・・・」という思いで友和小学校に、昨年度帰って参りました。

教諭時代も合わせると 11 年間、151 年のうちの 11 年を友和小学校で過ごすことができることは、とても幸せなことです。

「ふるさとを愛する」愛の力のもと、今後 175 年（タイムカプセルを開ける年）200 年 300 年・・・と玖島地区・友和地区そして佐伯の町が、子供たち、地域の方々の笑顔でさらに、輝き続けることを願っています。

令和 8 年 4 月 11 日

廿日市市立友和小学校長 安藤 聡子

